



ボウジンテックス

歩行用防滑骨材

ボウジンテックス 歩行用防滑骨材は、塗料 1 缶に対して、1 瓶を混ぜてローラー塗装するだけで、防滑仕上げが可能です。珪砂散布で生じやすい骨材むらを起こさず、簡単・きれいに施工ができます。

用 途

歩行時の防滑性が必要な床面

特 長

- ・ 添加型なので散布と違い、骨材むらが生じにくく、きれいに均一な防滑仕上げができます。
- ・ 珪砂 7 号と同等の仕上がりになります。
- ・ 1 缶に骨材 1 瓶混合しますので、計量間違いがありません。



適合上塗材

製品名	樹脂名
水系 ボウジンテックス アルファ	水系 1 液架橋型アクリル樹脂
水系 ボウジンテックス E	水系 2 液型エポキシ樹脂
フロアビアニ	水系 2 液型アクリルウレタン樹脂
ボウジンテックス #1000	溶剤系 1 液型アクリル樹脂
ボウジンテックス #2000	溶剤系 2 液型エポキシ樹脂
ボウジンテックス #5000U	溶剤系 2 液型ポリウレタン樹脂
ボウジンテックス #5400	溶剤系 1 液架橋型ポリウレタン樹脂

※中膜・厚膜タイプには適しません。

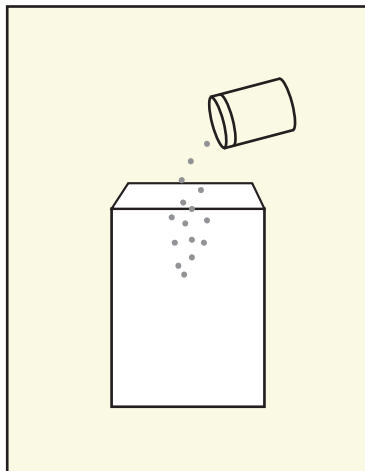
荷 姿

1L ポリ瓶 (300g)

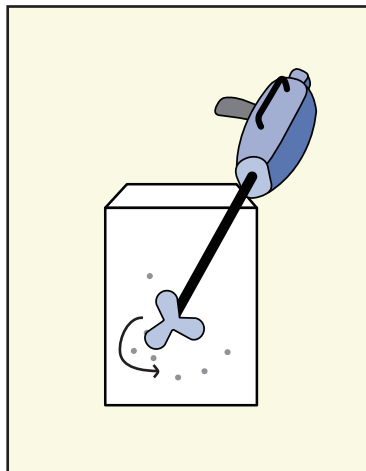
使用方法

上塗り 1 回目の塗料に対してボウジンテックス 歩行用防滑骨材を投入し、
上塗り 2 回目は骨材なしで塗装してください。

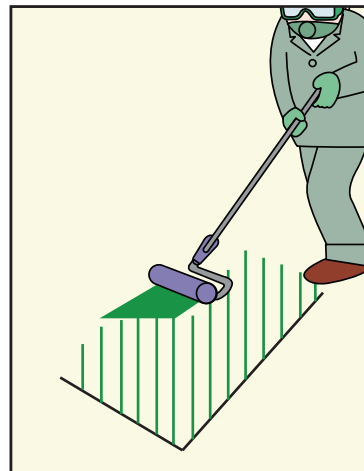
1 骨材を投入



2 攪拌



3 塗装



標準仕様

■ボウジンテックス #1000 が上塗りの場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季 30 日以上、冬季 40 日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季 14 日以上、冬季 20 日以上）、表面層の水分率 5% 以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 強化シーラー 16kg	0 ～ 10% (#5000U シンナー)	ハケ ローラー	1	0.12 ～ 0.16	100 ～ 133	——	——	4h 以上 24h 以内	——
上塗り	ボウジンテックス #1000 15kg 歩行用防滑骨材 0.3kg	60 ～ 90% (#1000 シンナー)	ハケ ローラー	1	0.11 ～ 0.14	109 ～ 139	——	1h 以上	——	——
上塗り	ボウジンテックス #1000 15kg	60 ～ 90% (#1000 シンナー)	ハケ ローラー	1	0.11 ～ 0.14	108 ～ 136	——	——	——	4h 以上 完全硬化 1 日以上

※塗付量にシンナーは含まれていません。

注意事項

- 骨材が完全に均一に混ざるまでよく攪拌してください。
- 攪拌後そのまま放置しますと、骨材が上層に浮いてきますのでローラーで混ぜながら塗装してください。
- 珪砂に比べ強度が劣るため、フォークリフト等重量物の運用用としては使用できません。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国 4 丁目 3-90 TEL 06-6391-3151
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌
カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
OND2512